

みなとっふ

地域の魅力を地元から発信

Takanawa Community News Magazine

高輪地区情報紙

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課

編集：みなとっふ編集室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



2026年7月

Vol. 58



日本基督教団高輪教会

地域に残る 歴史的建造物

高輪地区には80年以上前に建てられた優れたデザインの歴史的建造物が多く残されています。

これらの建造物は、地域の風格を高めるとともに、永く住む住民に、自分のまちとしての誇りやふるさと意識、一種の安堵感を与えています。

一方、建物の所有者は、これらの建造物を永く維持・管理をしていくには、大変なご苦労があると思います。それを配慮しつつ、歴史的建造物が少しでも永く存在し続けることを願っています。

(写真／真田 文／安藤)



堀江歯科医院

CONTENTS

- P2 街が変わる
品川駅はどう変わるのか？
- P3 この街にこの人あり
堤奏人さん／斉藤秀朋さん

- P4/5 地域のあしあと
地域に残る歴史的建造物

- P6 BUDO スポーカル高松「忍術&古武術」
SCIENCE 高輪学園理科学研究部

- P7 COMMUNITY ワンだふるBEANS
自転車交通ルールと青切符

- P8 区からのお知らせ
クロスワード

品川駅はどう変わるのか？



▲品川駅西口の工事の状況（令和8（2026）年5月17日撮影）

品川駅西口（高輪口）や構内では大規模な改良工事が進められています。

バスやタクシーの乗り場が遠くなってしまったり、JRの改札に向かう自由通路に上がるエスカレーターが無くなったりと、不便な思いをしている方も多いのではないのでしょうか。

全体計画は、品川駅周辺の再開発と併せて、リニア中央新幹線の開業、地下鉄南北線の延伸など、交通の要衝としての機能を高めることにより、駅利用の利便性向上を目的とした大規模なものとなっています。

ここでは、計画の大きな柱となる京急電鉄の品川駅改良を中心に、計画のあらましと、高輪地区の住民にとって期待されるポイントを紹介します。

●京急線品川駅の改良

鉄道の駅の改良というと、これまでは高架化や地下化が定番でしたが、ここでは現在の高架の駅を地上に移す工事が行われています。

その最大の目的は、品川駅利用者の構内での動線の上下移動を減らし、西口と、さらにその先の再開発エリアまでを、第一京浜（国道15号）をまたぐデッキで水平に結ぶというものです。

この工事により、京急線品川駅は、現在の場所から北（泉岳寺）側にスライドするとともに、プラットホームが2面3線（うち1線は行き止まり）から2面4線構造になります。駅構内のエレベーター

も現状3基が8基に増えるそうです。

これにより、京急線品川駅と駅西口、JR各線の流れが非常にスムーズになることが期待できます。特に、現在は線路を越えなければならない京急線の上り（泉岳寺方面）ホームからの乗り換えが大きく改善されます。



▲品川駅の自由通路、工事完成後はこの先、第一京浜の上に設けられるデッキに段差なくつながる（令和8（2026）年5月24日撮影）

●品川―新馬場間の立体交差化

品川駅の南側でも、八ツ山跨線橋の架け替え工事が進められています。これは京急線の品川―新馬場間の踏切3か所を除却し、道路と立体交差化する工事の一環で、安全性の向上と朝夕の交通渋滞の緩和が図られます。

●品川駅西口地区の再開発計画

品川駅西口の北側、かつてシナガワグース（旧ホテルパシフィック東京）があったエリアでも、建設工事が進められています。



▲（仮称）品川駅西口地区A地区新築計画（提供：京急電鉄）



▲（仮称）品川駅街区地区計画（提供：京急電鉄・JR東日本）

ここには、オフィス・商業施設・ホテルなどが入る地上29階の大規模複合施設が建設されます。事業主体は京急電鉄とトヨタ自動車で、このビルにはトヨタ自動車の新東京本社が入ることになっています。この施設は、令和11（2029）年度の開業を予定しています。

さらに、京急線品川駅の上部には、品川駅街区地区として、複合施設を建設する開発が計画されています（事業主体 南街区：京急電鉄、北街区：JR東日本）。北街区の完成は、2030年代半ば、南街区は2040年代とされています。

ご紹介したように、品川駅とその周辺は、これからの10年間で大きく変貌することになります。

これまで以上に通勤者、来訪者、旅行者が集まることになりますが、高輪地区の住民にとっても周辺環境が改善され、利便性が高まるような再開発となることに期待したいと思います。

なお、本記事作成にあたりましては、京浜急行電鉄株式会社様から資料・情報のご提供をいただきました。深く御礼申し上げます。



▲京急・品川駅の改良と西口へのルートへの平面化（提供：京急電鉄ホームページ）



▲八ツ山跨線橋の架け替え工事の状況（令和8（2026）年5月5日撮影）

この街にこの人あり

つつみ かなと
堤 奏人さん

まちの足を支えるちいばす運転手

毎日のように乗っているのに、運転手さんのことはあまり知らないという方も多いのではないのでしょうか。港区のコミュニティバス「ちいばす」の運転手は総勢約90名。運行時間は7時00分～、コース一周ごとに交代しながら毎日このまちを支えています。

その中で高輪ルートを走る堤 奏人さん(24歳)は、上司も「期待の星」と信頼を寄せる若手ドライバーです。



●転職のきっかけは？

運転が好きで思い切って飛び込みました。大型免許ゼロからのスタートで、4ヶ月の研修を経て2年前にデビューしました。

●高輪ルートならではの苦労は？

高輪台小学校のあたりは道幅がぐっと狭くなるので、対向車とのすれ違いに気を使います。

乗客は高齢の方が多いですが、坂が多いのでベビーカーや車椅子の方も。外国の方もよくいらっしゃいます。いろんな国の方が来られて、最初は言葉に苦労しました。今は「入管(Immigration)」だけは絶対聞き取れるようにしています(笑)。

●お客さんとの思い出は？

遅延した時に「しょうがないよね、お疲れさま」と声をかけてくれた方も。そうした温かい言葉に

バスのかわいらしいイラストは小学生のデザイン



運転席での堤さん

励まされながら、乗り降りのほんの数秒でも、気持ちよく乗車いただけるよう明るい声での対応を心がけています。

●地域とのつながりは？

車体の絵は区内の小学生が描いたもので、16年間変わらず高輪のまちを走っています。みなと区民まつりでのバスの展示や運転席体験、中学生の職場体験など、地域とのつながりを大切にしています。

「生活のために乗ってくださる方がほとんど」と堤さん。渋滞など思い通りにいかない中でも、明るく丁寧にお客さんと向き合うその姿勢が、365日このまちの日常を支えています。

(担当／丹羽、安藤、大友)



子どもたちに楽しく手話を教える斉藤さん

幼児から、大人、シニアまで各世代向けのサッカーコーチ(指導歴30年)で、選手としても現役、また手話の先生として小学生を指導、さらに保護司(犯罪や非行をした人の更生を地域で支えるボランティア)としての活動、その上、職業人・父親という四刀流を貫く高輪地区で活躍中の斉藤秀朋さん(46歳)取材しました。

●サッカーコーチとして

斉藤さんは、高輪地区「スポーカル高松」サッカー教室コーチのほか、別のスクールやチーム(広尾フットボールアカデミーなど)でも、プレー歴40年の経験を生かした指導を行っています。子どもの頃、指導者がおらず上達できなかった反骨心を変えてくれた高校時代のよき指導者が、コーチ

●手話の先生として

職場の先輩に誘われ、ひとつの言語だけではない世界も知ろうと手話開始から約17年。子どもたちに楽しく指導をしています。取材の日には小学校2年生～4年生の子どもたちを上手に集中させながら優しく教えていました。

●保護司として

知り合いの方に頼まれたという保護司活動では、「他の保護司がさじを投げた少年と向き合い、彼がサッカーをしていたこともあって心を砕いて話をし、やがて更生の道を歩き出した時は本当にうれしかった」と語ってくれました。簡単にできることではありません。

さいとう ひでとも
斉藤 秀朋さん

「一人ひとりを大切に」 わがまちの“四刀流”

を始めるきっかけになったそうです。「教え子たちとのつながりが長く続いていくことがうれしい」とのこと。

各方面で活躍されていますが、「皆さんが大切にされる、思いやりのある社会が目標です。そうすれば、優しいパスでチームも強くなり、心を通わせる人が増え、よき指導者として人が立ち直るお手伝いもすることができます」と斉藤さん。

いつの時代でも変わらない大切なものが、コーチとして補佐をしている息子さんにも受け継がれています。その姿に、思わずほっこりしてしまいました。心のこもった“四刀流”です。



サッカーコーチとして子どもたちに指導する斉藤さん

(担当／三富、景山)

みなとぶ

3

キリスト 日本基督教団高輪教会 (高輪三丁目)



●日本基督教団高輪教会について

小林信人牧師から日本基督教団高輪教会の概要と建物のお話を伺いました。

日本のプロテスタント教会は、明治5(1872)年に横浜に最初の教会として、日本基督公会が設立され、約150年の歴史があります。

日本基督教団高輪教会は明治15(1882)年に創立されました。当時、現在の東海大学品川キャンパスの辺りにありましたが、昭和8(1933)年に、現在の場所に移転し、建築家・岡見健彦おかみ たけひこの設計により建設されました。

岡見は、アメリカの建築家フランク・ロイド・ライトの愛弟子である遠藤新えんどうあらたが主宰する、遠藤新建築創作所に勤務した後、昭和4(1929)年からアメリカに渡り、ライトのもとで1年間学びました。また、岡見自身も教会員であり、岡見家は代々、高輪教会と深いつながりがありました。

●建物について

高輪教会は本館と別館があります。二本榎通りからやや斜めに配置され、道路から本館のふたつの面を見ることができるよう設計されています。令和7(2025)年には、東京都選定歴史的建造物(No.106)に選ばれました。

本館は木造の切妻屋根



小林信人牧師



高輪教会本館外観

の教会堂で、大きな舟の形(ノアの箱舟)をイメージして造られました。垂直や水平を強調した彫りの深いデザイン、クロス状の窓枠の形、凝ったディテールなどに、ライトの影響が読み取れます。簡素ながらも古さを感じさせないモダンなデザインの建物となっています。建てられてから93年が経ち、土台と壁については補修工事を行っていますが、家具、照明などは、ほぼ当時のままです。年季の入った木材の仕上げには風格が感じられます。

また、切妻屋根の天井の一部が高くなって自然光が入り、教会堂の内部を明るくしています。2階の一部に和室があり、礼拝時の幼児の預かり場所となっています。

別館は昭和31(1956)年に、岡見の設計で建てられ、柱を強調したデザイン、舟形天井など、やはりライトの影響が見られます。現在、1階、2階は教室となっており、子どもたちの学習の場として活用されています。

教会の前のベンチはバス停の利用者に重宝されています。

地域の 地域に残る歴

高輪地区には、80年を超える歴史的建造物が多く感じさせ、魅力と風格を与えています。

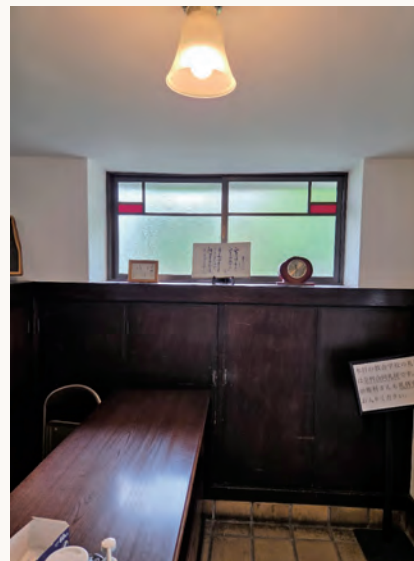
今回、昭和初期に建てられた「日本基督教団高輪



木材で仕上げられた礼拝堂内部。
天井に窓があり、内部を明るくしています



教室として活用されている別館



別館玄関ホール

●取材を終えて

大きな切妻屋根、彫りの深いデザインの日本機基督教団高輪教会は、高輪地区のシンボルとなっている建物のひとつです。歴史的建造物として、できるだけ長く残ってほしいと思いました。

あしあと

歴史的建造物

多く残されています。それらの建物は地域に歴史を

「教会」と「堀江歯科医院」をご紹介します。

●建設経緯

堀江歯科医院の建物は、神戸製鋼の前身である「鈴木商店」の関係者の邸宅として関東大震災直後の大正13(1924)年に建設されました。鈴木商店は、明治7(1874)年に神戸で創業し、多角化により発展しましたが、昭和2(1927)年の金融恐慌で破綻しました。

同年、先々代がこの建物を購入し、当時の応接間だった場所を治療室に改装。以降、歯科医院として、診療を続けています。

●建物について

建物は和洋折衷となっています。二本榎通り(区道15号)に面した部分は、門をくぐると、和風の玄関があり、小さな日本庭園が設けられています。そこから洋館部分につながっており、診療室となっています。そして診察室から泉岳寺方面に下る路地沿いの斜面に再び和風住宅が接続する造りとなっています。

洋館部分は、寄棟屋根の前後が一部切り取られた特徴ある形状で、大きな勾配をもった青い^{さんがわら}棧瓦の屋根が一層強い印象を与えます。

建物を出て保安寺へ下る路地からは、洋館の出窓や、和風部分の下見板張^{よろい}(鎧張り)の外観を観ることができます。

●室内の意匠について

玄関を入ると待合室があり、正面に「治療室」とガラス面に表記された重厚な木造の扉が目に入ります。過去に行った室内の改装を経ても、この扉は大切に使い続けているとのこと。この建物の歴史を感じさせてくれます。

この扉を開けると、そこには和と洋の意匠が美

堀江歯科医院

(高輪二丁目)



玄関が和、診療室部分が洋、という和洋折衷の外観。洋館部分の薄いブルーの屋根の形状や窓枠が印象的

しく調和した特別な空間が広がります。

診療室内は、天井が高く、広く、ゆったりとした空間となっており、白で統一された内壁、茶色い木製の窓枠や天井枠が落ち着いた印象を与えます。また、診察台を仕切っているキャビネットは、100年余前に先々代が海外から取り寄せたもので、空間にさらにレトロ感を与えています。

診察室の洋館からは、廊下伝いに和風住宅が続いています。一部は昭和12(1937)年に増築されたものですが、書院付きの座敷など、日本建築特有の意匠が随所に見て取れます。また、和室から昔は海が見えたそうです。現在は、眼下に庭、正面に高輪ゲートウェイシティの高層ビルが見えます。

●取材を終えて

二本榎通り(区道15号)沿いには、今回紹介した建物の他にも、歴史的建造物である高輪消防署や江戸時代からの由緒あるお寺がいくつかあります。この地域の魅力を感じつつ、歴史に思いをはせながら歩いてみると、新たな発見があるかもしれません。



玄関脇には小さな日本庭園が残ります



下見板張で仕上げられた、南側の路地から見た外観



玄関を入ると最初に目に飛び込んでくる「治療室」と表示されたレトロな扉



格調高い窓枠や天井枠が残る治療室。やさしい雰囲気が漂います



建設当初からの意匠である治療室の出窓。写真の奥に和風住宅部分が見えます



書院付きの座敷。床の間に掛け軸が飾られ、丸い明かり障子の書院が印象的に設けられています

プライバシー保護のため、敷地内の見学はご遠慮ください



スポーカル高松 「忍術&古武術」に行ってみた



高松中学校区のスポーカル高松では、多くの教室(クラブ)が積極的に開かれています。今回、「忍術&古武術」教室にお邪魔しました。さて、何が始まるのでしょうか…。

「忍術」といえば“ニンジャ”。手裏剣を投げて、吹き矢を吹いて…と、なりそうですが、それはほんの一部。ここでは武道としての「忍士道」を学ぶ場となっています。

「武術を通して自己制御を身に付け、平和・共生の社会を目指したいです」と師範の相澤かずひろさん。姿勢を整え、人が唯一制御できる内臓である“肺”で呼吸法を学ぶことなど、最終的に心を鍛えるのが目的になっています。相

澤さんは、「情報収集する忍者に必要な、場の空気を読む力など、鍛錬で真理の追究をしたいです」と語られます。

一方、「古武術」は幅広く、ここでは、「八光流 柔術 護身道」の師範・森口敦さんが護身術を指導されています。

「体軸を養い、無駄な力を抜くという日本人本来の身体の使い方を習得して、精神を整えていただければ」と話してくれました。「いろいろな武術をやってきましたが、年齢とともに離れる方もいて、力みを削って長くできるものとして、ここにたどり着きました。筋力より姿勢・体軸を使い、最小の力で最大の効果を」とも。



▲森口(左)と相澤(右)の両師範

取材の時は、体育館を半分ずつ使い、「忍術」は刀の使い方や棒術(山伏に変装時に持つ錫杖など)、縄で敵を捕らえる術などの練習が行われていました。一方の「古武術」では、対面で相手に腕をつかまれたときの逆転法や、取り押さえ方、座っているときに襲われた際の対応などを念入りに練習していました。

忍術・古武術ともに、簡単に学べるものではありません。どちらも、単に強くなるだけではないところを目指されていることを教えていただき、「技の訓練から、心を磨く」ことを目指す“道”に思えました。

身近にこんな場所があるのは日本中でも大変貴重だと思います。心・技・体を鍛えてみたい皆さん、この機会にぜひ! 師範が優しく指導してくれます。

(担当/三富、平尾、飯島)



▲イザ! 剣術 VS 棒術



▲鮮やかに逆転ワザ



スポーカルについては、上の二次元コードをご確認ください



「好き」を貫く! 高輪学園理科学研究部の探求心



140年以上の歴史を誇る中高一貫校・高輪学園。ここでユニークな活動を展開する「理科学研究部」。中高合同70名という大所帯、ご自身も同部OBで、20年以上顧問として後輩たちの探求心を見守っている押見誠則先生に話を伺いました。

部の最大の特徴はその「自由度」にあります。「可能な限り、やりたい研究を自由にさせる」という方針で、テーマは多岐にわたります。ミジンコの繁殖やタナゴの交雑といった生物学的アプローチから、電子レンジを用いた人工ビーの作成、鉱石の検波感度比較など高度な

化学実験まで、生徒たちが日常で抱いた「なぜ?」が、そのまま研究の種に。部長の矢澤さん、副部長の伊東さんも、「自分の『好き』」を追求できる環境が一番の自慢」と熱く語ってくれました。

活動は校内にとどまらず、5年前からJR東日本と協力して取り組む「ホップ栽培」は、地域の風物詩となりつつあります。

ホップを用いたお菓子やソーダ作りで地域と連携する一方、中学3年生のメンバーは「ホップ周辺の生物多様性」を調査。都会の真ん中ながら、ヒキガエルやタマムシ、ヘビなどが生息する高輪の豊かな自然をフィールドに、生き生きと活動しています。



▲矢澤部長(右)と伊東副部長(左)

また、垣根を超えた「縦のつながり」も強みです。年に一度の研究発表会にはOBも参加し、社会の最前線で活躍するロールモデルである先輩の知見に触れることができるのは貴重な機会です。「発表会で認められる経験や、人前で話すプレゼン力は大きな財産」と語る部員たちの目は本当に真っ直ぐ。その探求心を胸に卒業後も研究を続ける生徒も多いといいます。

「今後はさらに地域とのつながりを深め、生徒の探求を全力でサポートしたい」と語る押見先生。高輪の地で育まれた探求心が、未来を切り拓く原動力となるに違いありません。

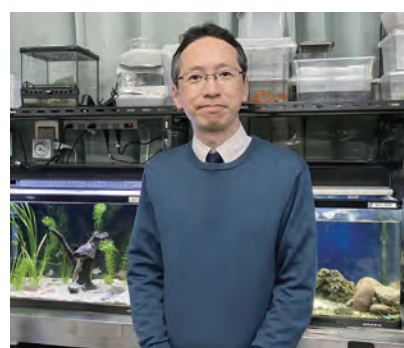
(担当/清水、森)



▲(左から)ホップ班の櫻田さん、権田さん、川崎さん



▲高輪で採取したカナヘビ(トカゲの一種)



▲押見先生

ワンだふるBEANS 犬とお散歩&クリーンアップ



4月25日(土)、JR東日本「高輪ゲートウェイ駅」北改札出てすぐにあるGateway Studioと高輪地区総合支所協働推進課共催のイベントに参加しました。

まちの部活動のようなコミュニティ活動のひとつである「BEANS(ビーンズ)」のイベントです。今回は、Gateway StudioのコミュニケーターであるYOKOさんと愛犬のゾーイの呼びかけに応え、Gateway Studioを出発し、桂坂を上り、二本榎通りを経て、高輪地区総合支所まで、1時間30分をかけて犬の散歩をしながらゴミ拾いを実施しました。

今回集まったのは20人ほど。簡単な説明と自

己紹介の後、ざっくりと、お散歩優先組とゴミ拾い組に分かれて出発しました。

お天気はまずまず。初参加の方々もホスピタリティあふれる6匹のワンちゃんたちのおかげで和気あいあい。ゆるゆると歩きながら高輪地区総合支所にゴールしました。肝心のゴミの収穫は少なめでしたが、最後に区の方からペットと暮らす人の防災への取組についても伺い、解散となりました。

何かのミッションのもと仲間と歩くと、いろいろな気付きがあって新たな景色が見えてきます。なんだかいつもよりちょっと優しい目で周りを見られるような気がして、楽しい勉強になりました。



▲ゴールの高輪支所で集合

このワンだふるBEANSは、「高輪を、犬と人がより幸せに暮らせるまちに」をコンセプトに、犬との毎日をより楽しくするための情報交換や、犬と飼い主さん同士の交流会、犬の健康やしつけに関する勉強会などを開催してきました。

「今後は、犬を飼われていない方が犬と触れ合い、犬との暮らしを体験できる会や、マナー啓発を通じて、ひとりでも多くの住民の方が犬を好きになってくれるような活動にも挑戦していきたいです。身近な小さな命たちを中心に、人と人が優しく緩やかにつながるコミュニティを広げていくことを願っています」(YOKOさん)



ご興味ある方はこちらで友だち追加をお願いします

(担当/森、堀井)



▲ほらここにゴミが



▲お話ししながら散歩



▲YOKOさんと愛犬ゾーイ



自転車交通ルールと青切符

令和8(2026)年4月1日から、自転車にも「交通反則通告制度(青切符)」が導入されました。自転車の交通違反に対して反則金が科されるようになり、「どんな運転に注意すればいいの?」と気になっている方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、日頃から意識したい自転車の交通ルールや安全な乗り方について、警察の方にお話を伺いました。

◆安全のために意識してほしいことは?

警察の方が特に強調されていたのは、「自転車安全五原則」を守ることです。

「年齢などにより例外的に歩道通行が認められる場合であっても、原則をしっかり守ることが大切です。警視庁が発行しているパンフレット『自転車の正しい乗り方』を確認し、ルールを知って守っていただきたいです」とのお話でした。

◆高輪周辺で気を付けてほしいこと

高輪周辺では、大規模な開発工事などにより一時的に道幅が狭くなっている場所や、道路状況が変わっている場所があります。

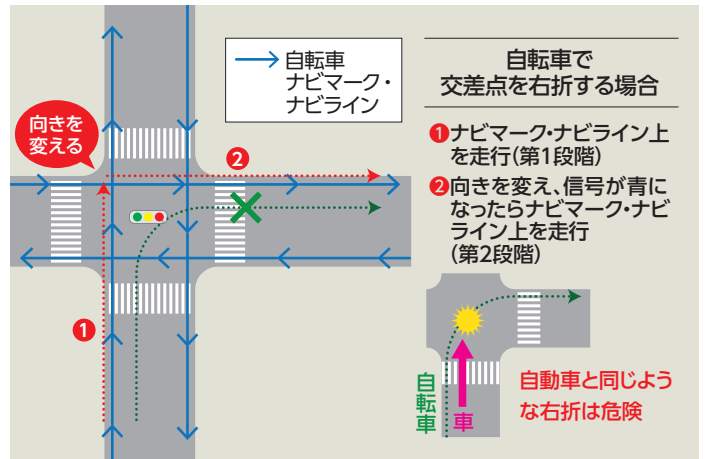
警察の方は、「周囲の状況をよく確認しながら、車を運転する方、歩行者、自転車利用者それぞれが交通ルールを守り、譲り合って安全に通行してほしい」と呼びかけていました。

◆交差点では特に安全確認を

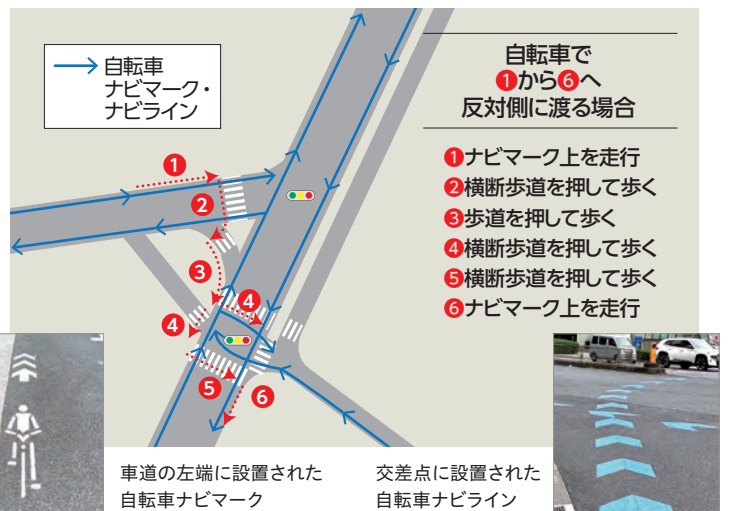
高輪周辺で、自転車で2カ所の交差点を通行する際の走行方法を教えていただきました。道路状況は変化する場合があるため、実際の交通ルールや現地の標識や信号に従って通行してください。

改めて交通ルールを確認し、安全で安心な自転車利用を心がけましょう。

自転車での走行方法



自転車での走行例 ※複雑な交差点の場合は、注意して走行してください



～自転車安全五原則とは～

- 車道が原則、左側を通行。歩道は例外、歩行者を優先
- 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 夜間はライトを点灯
- 飲酒運転は禁止
- ヘルメットを着用

▶自転車交通安全教育用リーフレット

※「自転車の正しい乗り方」のパンフレットは、上の二次元コードからご覧いただけます。



一般向け



子ども向け

区では、自転車の安全に対する取組をしています

- 自転車用ヘルメットを購入した人に2,000円分のみなトクPAYポイントをお渡しします
- 自転車のTSマークを取得した人に2,000円分のみなトクPAYポイントをお渡しします



▲詳しくはこちら

(担当/村田、安藤、大友)

区からのお知らせ



区公式X(東京都港区【地域情報】)では、地域のできごとをはじめとしたさまざまな情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願いいたします! @minato_chiiki



明治学院歴史資料館講演会

「賀川豊彦の青春 明治学院編
～白金の学び舎が形成した世界的人物、
賀川豊彦の横顔～」

- 日時…令和8(2026)年12月5日(土)
13:00～15:00(開場12:30)
 - 参加費…無料
 - 会場…明治学院記念館
(明治学院大学白金キャンパス)
 - 講師…杉浦秀典氏(賀川豊彦記念松沢資料館
副館長・学芸員/野方ウエスレアン・メ
ソヂスト教会主任牧師)
 - 申込方法…Googleフォーム
 - 受付期間…10月26日(月)～11月20(金)
 - 人数…60名(どなたでも・先着順)
 - ホームページ…<https://shiryokan.meijigakuin.jp/>
- 明治学院歴史資料館 講演会係 ☎03-5421-5170
(メール:shiryokan@mguad.meijigakuin.ac.jp)



Googleフォーム

コミュニティ・カフェ高輪

地域の方の居場所づくりを目的として、高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営し、地域の方が自由に参加できるカフェです。

高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日

13:30～15:30(12月と8月の第4金曜日は休み)に、ゆかしの杜の6階区民協働スペースでは毎月第3金曜日13:30～15:30(8月休み)に、HUG高輪では毎月第3火曜日(8月休み)にカフェ(13:30～15:30)とミニ講演会(14:00から)を開催しています(12月、3月はカフェのみです)。

区民センターカフェでは第2金曜日にポッチャを第4金曜日にスマホ相談室を行っています。詳細は高輪地区デジタルサイネージ、いきいきプラザなどのチラシでご案内します。コーヒーを飲み、そしてお話ができる場所ですので気軽にお出かけください。

問 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 ☎03-5421-7123



写真は区民センター・カフェ 令和8(2026)年4月

令和8年度港区総合防災訓練(高輪会場)のお知らせ

令和8年度港区総合防災訓練(高輪会場)を実施します。

初期消火訓練や子ども向けの防災訓練のほか、事業者による普及啓発などを実施する予定ですので、ぜひご参加ください。

- 日時…令和8(2026)年11月8日(日)
9:30～11:30
- 場所…港区立高松中学校

問 高輪地区総合支所 協働推進課 ☎03-5421-7621



AR・VR体験の様子

高輪地区地域情報紙「みなとっぷ」の子ども記者募集!!

輪い輪いまつりを取材して、「みなとっぷ」に記事を書いてみませんか? 会場での発見や経験を自分の言葉で伝える子ども記者を募集します! 詳細は秋頃にホームページでお知らせします。

- 日時…令和8(2026)年11月14日(土)・15日(日)(予定)
- 定員…若干名(抽選)
- 対象…高輪地区に在住在学の小
小学校2年生から小学校6年生

問 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 ☎03-5421-7123

区民編集メンバー考案!

クロスワードパズル

高輪縦横無尽

(担当/飯島)

□の文字を並べ替えると、
一つの言葉が出てきます

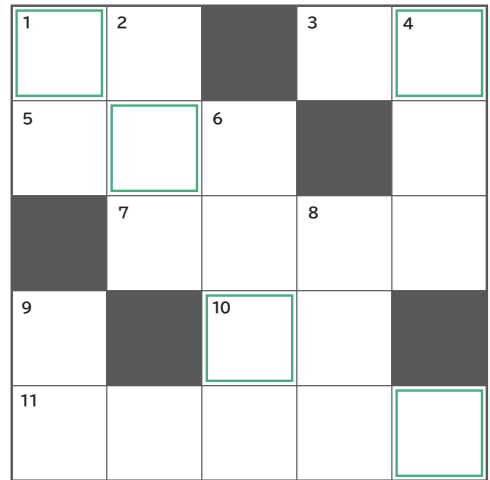
答えはこのページの一番下

タテのカギ

- 1 古くからの習慣にこだわって、時代に合わせることを知らぬこと。〇〇を守りて兎を待つ。
- 2 健康維持や気分転換、リフレッシュを目的として、あてもなくぶらぶらと歩くこと。
- 4 集団や場所で絶対守るべき古くからのきまり、法律、または強いルール。
- 6 江戸時代、武士に対して行われた土籍をはく奪する刑罰。
- 8 酒に酔ったあと。また、酔ったあげく。
- 9 いくら意見や忠告をしても、まったく効果がないこと。〇〇に釘。

ヨコのカギ

- 1 権勢のある者の威光を利用して威張る。〇〇に着る。
- 3 令和8(2026)年4月から、自転車の悪質な交通違反(16歳以上)にも適用されている〇〇切符。
- 5 忍者や古武術は日本の〇〇〇。
- 7 ごみをごみ箱や指定された場所以外の道路、公園、川などに捨てる行為。
- 10 サメと同じ軟骨魚類に分類される、体形が平らで胸びれが大きく発達した魚の総称。
- 11 ふたつの陸地に挟まれた、幅が狭い海域。



各支所で、地域情報紙(情報誌)を定期的に発行しています

- 芝地区総合支所「しばタグ」
- 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」
- 赤坂地区総合支所「MYタウン赤坂・青山」

- 高輪地区総合支所「みなとっぷ」
- 芝浦港南地区総合支所「べいあっぶ」

支所内各戸配布のほか、港区立図書館(高輪図書館分室を除く)・各いきいきプラザで閲覧することができます

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとっぷ バックナンバー

編集だより

58号

区民編集メンバー

※50音順

安藤 洋一(チーフ) 清水 徹夫
阿部 泰 田中 康造
大友 登喜雄(サブチーフ) 丹羽 彩子(サブチーフ)
飯島 真弓 平尾 恭一
川野 まりえ 堀井 由里子
小坂 靖浩 三富 和則
佐々木 智秋 村田 志織里
真田 晃 森 佳夫



- ▶夏祭りの季節となりました。この地域でもいくつかの夏祭り、盆踊りが予定されています。地域の行事に多くのご参加があることが賑わいとなるかも。(阿部)
- ▶高輪地区で開発が進む中、残されている歴史的建造物が存在感を増して、地域の魅力を高めています。(安藤)
- ▶日本古来の武術を通して、これまで知らなかった日本の魅力の奥深さを感じるひとときとなりました。(飯島)
- ▶ちいばす運動手さんの心温まるお話が聞けて感謝です。引き続き安全運転と誠実なご対応をよろしくお願いいたします。(大友)
- ▶歴史あるたたずまいの堀江齒科医院。趣のある廊下やすばらしい床の間などを拝見し、感動しました。(川野)
- ▶歴史的建造物の高輪教会から大規模改良工事の品川駅まで、古いものから新しいものまで、案内しがいのある地域です。それから、第71回港区内消防団ポンプ操法大会、高輪消防団第一分団準優勝おめでとうございます。(小坂)
- ▶日本基督教団高輪教会の取材を担当。歴史ある教会を、数多くの皆さまが丁寧に磨き込まれておられ、すばらしいと思いました。(佐々木)
- ▶品川、高輪ゲートウェイの両駅を核とする再開発とともに、歴史的建造物がまちに調和し大切に守られる高輪となることを願っています。(真田)
- ▶高輪学園を訪問しました。中高生のあくなき探求心は純粋で、研究することのおもしろさ、大切に触れるよい機会になりました。(清水)

- ▶都市開発が進む港区において、歴史的建造物はこれに添える花のような存在です。古き良き伝統を後世に伝えていくことは、我々の責務だと改めて感じました。(田中)
- ▶ちいばすの取材では事業所を訪ね、日常の裏側を垣間見ました。今年度も編集委員として、高輪の魅力をお届けしたいです。(丹羽)
- ▶見知らぬ道でも道連れ、特にワンコさんたちが一緒にとても楽しかったです。高輪はゴミが少ないですね。(堀井)
- ▶忍術・古武術・大人のサッカー・手話などが習える「スポーカル高松」はホントにすてきだと思います。(三富)
- ▶取材を通して自転車のルールについて再確認できました。少しでも皆さまのお役に立てましたら幸いです。(村田)
- ▶ワンちゃんと一緒にお散歩しました。何年ぶりでしょうか? こういうひとときが大切だと感じました。また、散歩したいです。(森)

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

〔印刷所〕(株)印刷工房 印刷部
〒108-8581 東京都港区高輪1-16-25 ☎03-5421-7123 FAX: 5421-7626
発行番号 2026035-2235

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085